

えがおのたねとき

2019年
冬



・・・ その「ねばならない」本当に必要ですか？ ・・・

— 他人も自分も傷つけてはいけない。罪を犯してはいけない —
以外に思い浮かんだ「ねばならない」を、少し手放してみませんか？

早寝早起き朝ごはん！大きな声で挨拶する！朝マラソンがんばる！忘れ物しない！宿題を必ずする！…などなど。それは、身につけられたらいいなあ…やっておくといいかも…のものはたくさんあります。

でも、それは「安心」の土台の上であって「不安」があるとき、またはその他に何か理由があって、それが「できない」ときもあると思うのです。

☆親との適切な距離

☆疲れたら無理せず休むこと

☆余暇を豊かに過ごすこと

もしかしたら、このバランスが取れていない時かもしれません。



— 「…たら、…れば、…のに」 1日に何回考えていますか？ —

自分に言ったり、他人に言ったり、考えたり。何度しているでしょうか？

向上心がある人、またそのエネルギーがあると、「よし！今度はこんな風にしよう！」と切り替えられると思いますが、その準備が整っていないと、「できない自分」と向き合うことになり、途端に気持ちが落ち込み、しんどくなります。

「完璧な人はいないから、失敗することは当たり前だよ」という言葉も、本当のところ腑におちない人も多いかもしれません。

— 白か黒かどっちだ！ —

正しいか間違ってるか。良いか悪いか。先か後か。優れているか劣っているか。優しいか怖いかなどなど、極端に考えていませんか。

そもそも比較すること自体がナンセンスなことあるかもしれません。

↑ またまた「かもしれません」って断定しないで逃げてる文章だな、と感じた方も多いのではないのでしょうか。

世の中、自分の価値観のメガネだけでははかれないことも多いのに、断定してしまう怖さを感じます。



Lino に来てくれている悩める中学生に伝えています。

「世の中、グレーなことばかりだよ。思い込みや決めつけで考えない癖をつけようね」



子どもも親もHAPPYに ～発達が気になる子の育て方～ 立石美津子講演会

11月30日、並木公民館にて、立石美津子さんをお招きして「発達が気になる子の育て方」をテーマに公開講座を開きました。

80名の参加者層は保育士、教員、施設職員、市役所職員、そして保護者の方たちも多く、ご夫婦で聴講される方もおられました。久しぶりに託児もついていたので、2時間の講演時間があつという間で、内容は本当に盛りだくさんでした。(レジュメは法人に余分にありますので、必要な方はお問い合わせください。)

立石先生は、特別支援学校を卒業された息子さんの母であると同時に幼児教育の専門家でもあり、著書もとてもわかりやすいです。そして、ストレートに包み隠さず、二次障害(精神病棟に入院している児童の話)の話題にも触れていました。

皆と同じことができるように、直そう、正そうとする『熱心な無理解者』にならぬよう
子どもの将来のため、今、辛くても頑張らせるのではなく…
毎日、子ども自身が、「生きていて楽しい」を経験させる、
この積み重ねが未来への希望を見出し、幸せな将来を作る (当日スライドより)

子どもに苦手なことがあって、それは苦しんだねということへの共感が、何より私にだとわかりました。自分の価値観ではない見方ができるように何より子どもの安心を優先することを忘れないようにしたいです。

福祉とつながることの大切さ、その子の人生全てを見つめての今を考えることなど、保護者への伝えの難しさを日々思いますが、伝え、一緒に考えていくときの手立てをたくさん学べました。もっと同僚を誘い聞いてほしい内容でした。

ありのままを受け止めることの「本当の意味」が具体的な事例をもとに自分の中で確立できた気がしました。

他の困っているママ友にぜひ伝えたい。夫、姑にも自信をもって迷わず手帳を作る決意ができた

自閉症を持つ親の心情を大変よく理解されている先生の説明やアドバイスは、大変に説得力があり、わかりやすかったです。日々、悩みや後悔の連続ですが、今回の講演のおかげで、心が晴れる気持ちになりました。ありがとうございました。これから子どもたちとしっかり頑張ります。

手帳をとるとどうなるのかなど知らないことが多かった。年金のこと。いいにくいことも、バシッといつてくれた。根拠、理論があるからこそですね。

今日のお話を聞いて、日頃の自分の育児を振り返って、はっとさせられました。自分の体裁より、子どもが生きやすいように楽しく幸せに生きられる環境をつくることを第一に考えられる人間になりたいです。子どもを育てようとするのではなく、私が成長しなければならないことを強く感じました。このようなことを考えるきっかけを頂き、本当にありがとうございました。



私たち、えがおのたねは、地域で暮らされている誰もが「生きていてHAPPY」と思える社会を目指しています。“誰もが”ということは、すべての人、もれなくです。

特に子育てをしている方が、「ねばならない」に囚われて、しんどくならないように、何かのお力になればいいなと思っています。

きなこ であそぼ

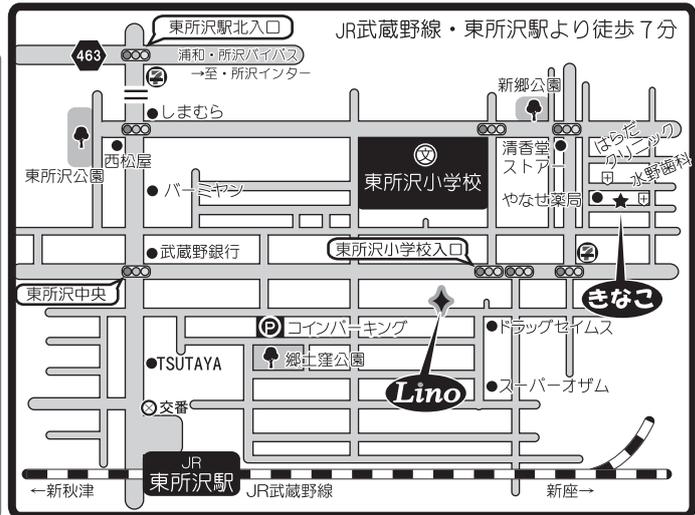
@ きなこ

みんなで遊んで手作りおやつとお茶でほっと一息
楽しいおしゃべり悩みも気軽に相談
(個別相談も受け付けます)

対象：未就学のお子さんとその保護者
参加費：おやつ代100円 ・場所：きなこ

1月16日(木)・2月20日(木)・3月19日(木)
9:30~11:00

※駐車場は狭いので、申し込み時にご確認下さい。



私たちえがおのたねは、現在、正会員18名、賛助会員60名です。充実した施設運営のため、新規の正会員・賛助会員を募集しています。ぜひ皆様のお力添えをお願いします。
HP・メール・お電話にてお知らせください。
会員、賛助会員の方には、季節ごとのたねまき通信や子育て情報をお届けします。既に会員の方には継続をよろしくお願いたします。
《賛助会費》 一口(年会費)千円
《正会員費》(入会金)1万円(年会費)五千元
【振込み先】 ゆうちょ銀行 記号 10360 番号 21600941

えがおのたね とき通信 第26号
2019年12月発行
【発行】 特定非営利活動法人えがおのたね
〒359-0021 所沢市東所沢3-6-17
TEL/FAX 04-2008-2437 (きなこ)
E mail (メールアドレス) egaonotane@ozzio.jp
URL (ホームページ) http://egaotane.com